

登録コード	A3Y68200	開講年度	2026				
授業科目	国際農学実習（交流協定）					担当教員	瀧渦 康範
英文授業名	International Agricultural Experience						
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1～4年生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2025カリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】3.【情報分析・発信力】 論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。					留学先で開講される授業を受講し、論理的思考に基づき、多様な情報を収集・分析・活用し、その内容を分かりやすく効果的に発信できるようになる。	
	【2025年度以降カリキュラム対象】4.【協働力】多様な価値観を理解し、他者との対話を通じて、課題に取り組むことができる。					留学先で開講される授業を受講し、多様な価値観を理解し、他者との対話や協働を通じて課題解決に取り組むことができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本科目は、履修希望者が、信州大学の大学間及び学部間交流協定に基づく留学において、留学先で修得した農学に関する科目を帰国後に申請をすることで、農学部で開講されている他の実習科目に相当するかを個別に審査した上で判定し、相当する場合に単位認定をする。 単位認定については、留学先で修得した授業のシラバス及び成績証明書を基に行う。審査にあたって、申請者に対し試問又はその他必要な書類の提出を求めることがある。						
(5)授業計画	学術交流協定に基づく留学についての募集に応募し、派遣先から入学が認められ、実際に留学した学生を対象としている。 外国の大学等での履修後すみやかに必要書類をそろえ、申請をすること。なお、原則、留学終了年度内に申請を行うこと。 < 必要書類 > ・海外留学における修得単位認定願 ・留学先大学発行の成績証明書 ・海外留学における修得単位認定表 ・修得科目シラバス < 提出先 > 農学部学務グループ						
(6)自主学習の指針	留学先の指示に従うこと。						
(7)成績評価の基準	農学部の実習科目に相当する場合は「認定」とする。						
(8)事前事後学習の内容	留学先の指示に従うこと。						
(9)テストやレポートの予定	履修後すみやかに申請書類を提出すること。						
(10)成績評価の方法	申請書類を基に、農学部の実習科目2単位に相当するかどうかを農学部教務・学生委員会にて審査する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	農学部学務グループへお問い合わせください。 メール：ngakumu shinshu-u.ac.jp は@にしてください。						
(12)履修上の注意	国際農学講義 ～ 、国際農学実習 ・ 、国際農学演習 ・ についてはあわせて12単位を超えない範囲で卒業に必要な単位に算入できる。						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						